1　食品安全を主な内容とする取組　①

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
ほ場環境の確認と衛生管理	ほ場やその周辺環境（土壌や汚水等）、廃棄物、資材等からの汚染防止	ほ場やその周辺の環境を把握していますか。	○		
		ほ場及び隣接地の従前及び現在の用途について知っていますか。	○		
		ほ場に吸殻、空き缶、農業資材のビニール類などが放置されていませんか。	○		
		工場などが近くにある場合は、工場の排水は流入していませんか。	○		
		家畜糞尿を原料とする未処理のたい肥が流出し、生鮮野菜と接触する可能性はありませんか。	○		
		たい肥は、ほ場から離れた場所に保管していますか。	○		
		たい肥置場には、屋根や排汁溝が設置されていますか。	○		
カドミウム濃度の低減対策	過去の米穀や生産環境におけるカドミウムの情報を踏まえ、必要に応じて、出穂前後3週間の湛水管理等の低減対策を実施し、その効果を確認	土壌中の農作物へ危害を及ぼす重金属の有無について把握していますか。	○		
肥料・培養液の使用	たい肥を施用する場合は、病原微生物による汚染を防止するため、完熟たい肥を使用	人糞尿を使用していませんか。	○		
		たい肥やその原料の処理保管場所からたい肥や廃液が流出し、収穫物と接触しないように対策をとっていますか。	○		
		たい肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅や病原性微生物による汚染を防止するため、数日間、高温で発酵させたい肥を使用していますか。	○		
ほ場環境の確認と衛生管理	ほ場やその周辺環境（土壌や汚水等）、廃棄物、資材等からの汚染防止	細かな農業資材（クリップ、針金、結束帯など）が栽培中の農作物に入り込んだり、収穫物に紛れ込むことがないように、注意していますか。		○	
農薬の使用	無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材の使用禁止（法令上の義務）	無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材を使用していませんか。		○	
	農薬使用前における防除器具等の十分な点検、使用後における十分な洗浄	農薬使用前における防除器具等の十分な点検及び、使用後における十分な洗浄を実施していますか。		○	
	農薬の使用の都度、容器又は包装の表示内容を確認し、表示内容を守って農薬を使用（法令上の義務）	農薬の使用の都度、容器又は包装の表示内容を確認し、表示内容を守って農薬を使用していますか。		○	
	農薬散布時における周辺作物への影響の回避（法令上の義務）	農薬散布時における周辺作物への影響を回避する取組を実施していますか。 （風向き、障壁作物の設置、飛散しにくい剤形の選択、飛散防止ノズルの利用等）		○	

1　食品安全を主な内容とする取組　②

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
肥料・培養液の使用	生鮮野菜の生産においてたい肥を施用する場合は、病原微生物による汚染を防止するため、完熟たい肥を使用	収穫直前の農作物にたい肥やその原料が長靴などを介して間接的に触れないように心がけていますか。		○	
作業者等の衛生管理	作業者の衛生管理の実施	作業者の衛生管理・健康管理を実施していますか。		○	
		必要な時はその都度手洗いを励行していますか。		○	
		履物や手袋等の清潔さの保持に努めていますか。		○	
機械・施設・容器等の衛生管理	トラクター等の農機具や収穫・調製・運搬に使用する器具類等の衛生的な保管、取扱、洗浄	農機具や収穫・調製・運搬に使用する器具類等を定期的に洗浄や手入れをしていますか。		○	
		たい肥やその原料、生ごみ等に使用されるなど、汚染の可能性がある農機具や器具類等は、十分に洗浄し、必要に応じて消毒していますか。		○	
	栽培施設の適切な内部構造の確保と衛生管理の実施	農薬の空き容器などは場所を決め、土壌や水源を汚染しないように保管していますか。		○	
ほ場環境の確認と衛生管理	ほ場やその周辺環境（土壌や汚水等）、廃棄物、資材等からの汚染防止	病気や害虫の発生を抑えるためにも、栽培終了後には、ほ場の後片付けを適切に実施していますか。			○
カドミウム濃度の低減対策	過去の米穀や生産環境におけるカドミウムの情報を踏まえ、必要に応じて、出穂前後3週間の湛水管理等の低減対策を実施し、その効果を確認	カドミウムに汚染した米は明確な表示による区分をして管理しますか。			○
収穫以降の農産物の管理	米穀の清潔で衛生的な取扱い（法令上の義務）	貯蔵施設の温度と湿度を適正に管理していますか。			○
		穀温を管理していますか。			○
		施設の清掃を実施し、清潔に管理していますか。			○
		施設に動物、害虫が入らないように対策をとっていますか。			○
		施設に動物、害虫が入ってしまった場合の駆除対策がありますか。			○
	収穫・乾燥調製時の異種穀粒・異物混入を防止する対策の実施	違う品種を乾燥する場合、残留物がないよう十分に除去を行っていますか。			○
		収穫・乾燥調整時に小石、虫、プラスチック片などの異物が混入しないように対策を取っていますか。			○

2　環境保全を主な内容とする取組　①

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
農薬による環境負荷の低減対策	水田からの農薬流出を防止する対策の実施	水田からの農薬流出を防止するため、畦畔等を整備していますか。	○		
肥料による環境負荷の低減対策	水田代かき後の濁水流出の防止対策の実施	水田代かき後に濁った水が流出しないように、あぜぬりの実施や、あぜシートの利用などを行っていますか。	○		
	土壌診断の結果を踏まえた肥料の適正な施用や、都道府県の施肥基準やJAの栽培暦等で示している施肥量、施肥方法等に則した施肥の実施	土壌診断を行い、肥料の適正な施用を行っていますか。	○		
土壌の管理	たい肥等の有機物の施用等による適切な土壌管理の実施	たい肥等の有機物の施用により、土づくりに努めていますか。	○		
	土壌の侵食を軽減する対策の実施	土壌の侵食が予測される場合、侵食を軽減する対策を実施していますか。	○		
廃棄物の適正な処理・利用	農業生産活動に伴う廃棄物の適正な処理の実施（法令上の義務）	資格のある産業廃棄物処理業者に廃棄物（廃プラスチック、空容器、空袋、残った農薬、農業機械等）の処理を委託していますか。	○		
生物多様性に配慮した鳥獣被害対策	鳥獣を引き寄せない取組等、有害鳥獣による農業被害防止対策の実施	農地をエサ場にしない取組を実施していますか。	○		
肥料による環境負荷の低減対策	水田代かき後の濁水流出の防止対策の実施	浅水状態での代かきをしていますか。		○	
農薬による環境負荷の低減対策	水田からの農薬流出を防止する対策の実施	農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項等を遵守していますか。		○	
	農薬の使用残が発生しないように必要な量だけを秤量して散布液を調製	農薬の使用残が発生しないように必要な量だけを秤量して散布液を調製していますか。		○	
	病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境づくり	病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めていますか。		○	
	発生予察情報の利用などにより病害虫の発生状況を把握した上での防除の実施	発生予察情報の利用などにより病害虫の発生状況を把握した上で防除を実施していますか。		○	
	農薬と他の防除手段を組み合わせた防除の実施	化学農薬以外の防除手段を採り入れていますか。		○	

2　環境保全を主な内容とする取組　②

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
農薬による環境負荷の低減対策	農薬散布時における周辺住民等への影響の回避	農薬の使用量、使用回数の削減を心がけていますか。		○	
		飛散が少ない形状の農薬及び農薬の飛散を抑制するノズルを使用していますか。		○	
		近隣に影響が少ない天候の日や時間帯での散布をこころがけていますか。		○	
		農薬を散布する場合、近隣住民等への事前の周知を行っていますか。		○	
廃棄物の適正な処理・利用	農業生産活動に伴う廃棄物の適正な処理の実施 （法令上の義務）	産業廃棄物管理票の控えと処理業者の資格証明書の写しを入手・保管していますか。		○	
		農薬散布機の洗浄液を河川に流したり、容器の野焼きや農業機械のほ場への投棄など、しないようにしていますか。		○	
		産業廃棄物、資源ごみ等は、区分して保管・処分していますか。		○	
		廃棄物の保管場所では、他の場所への飛散や、農産物や作業服等の汚染などが生じないように管理していますか。		○	
		農薬の空き容器は、屋根のある、風雨にさらされない場所に保管し、周辺の汚染や地下、河川等への流出を防止するように管理していますか。		○	
		汚染リスクの高い廃油は、別容器に保管し、適正に処分していますか。		○	
		使用済み資材等の野焼きはしないようにしていますか。		○	
エネルギーの節減対策	施設・機械等の使用における不必要・非効率なエネルギー消費の節減	施設・機械等の使用において、エネルギー消費の節減に努めていますか。		○	
生物多様性に配慮した鳥獣被害対策	鳥獣を引き寄せない取組等、有害鳥獣による農業被害防止対策の実施	収穫しない野菜や間引いた株、ヒコバエなどは農地に残さず、簡単に取られないようにネットで囲んだり、埋設など適切に処理していますか。		○	
廃棄物の適正な処理・利用	作物残さ等の有機物のリサイクルの実施	無病の作物残さ等の有機物は、ほ場に還元したり、たい肥の原料や飼料・敷料等の用途へ仕向けるなど、有効活用を実施していますか。			○

3　労働安全を主な内容とする取組　①

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
施設の管理・運営体制の整備	施設の適正な管理・運営及び施設の管理者とオペレータとの責任分担の明確化	施設の管理者とオペレータとの責任分担を明確にした組織図を掲示していますか。	○		
危険作業等の把握	農業生産活動における危険な作業等の把握	危険性の高い機械作業や作業環境、危険箇所を把握していますか。	○		
		危険な場所や作業の注意を喚起していますか。	○		
		事故発生時の対応方法や緊急連絡先を明記したものを掲示していますか。	○		
	緊急時の対応	救急箱の設置や病院の連絡先の一覧を作成するなど緊急時に素早く対応できるようにしていますか。	○		
作業環境への対応	農作業事故につながる恐れのある作業環境の改善等による対応の実施	危険な物や場所がある場合は、表示していますか。	○		
		危険箇所の補強や、緩和の措置を行っていますか。	○		
農薬・燃料等の管理	農薬、燃料等の適切な管理（法令上の義務を含む）	農薬保管庫の鍵の管理責任者が決まっていますか。	○		
作業環境への対応	農作業事故につながる恐れのある作業環境の改善等による対応の実施	定期的な休憩を取るように心がけていますか。		○	
農作業従事者の制限	機械作業、高所作業又は農薬散布作業等、適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限	機械作業、高所作業又は農薬散布作業等、適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限を設けていますか。		○	
服装及び保護具の着用等	安全に作業を行うための服装や保護具の着用、保管	防護服や防護装備は農薬と離して保管していますか。		○	
		危険性のある作業において、ヘルメットや帽子、保護メガネ、防塵マスク等の防護装備を着用していますか。		○	
	農薬散布時の服装	農薬の散布作業に従事する際は、カッパ、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴーグル、防護マスクを必ず着用していますか。		○	
		農薬の散布作業時における防護服は着用後に洗浄していますか。		○	
機械等の導入・点検・整備・管理	機械、装置、器具等の安全装備等の確認、使用前点検、使用後の整備及び適切な管理	機械、装置、器具等の安全装備等を確認していますか。		○	
		使用前点検、使用後の整備及び適切な管理を実施していますか。		○	
	機械、装置、器具等の適正な使用	機械等の取扱説明書を理解し、適正な使用に努めていますか。		○	
		危険を伴う機械を利用する際は、周囲の確認や、機器の安全利用に努めていますか。		○	

3　労働安全を主な内容とする取組　②

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
農薬・燃料等の管理	農薬、燃料等の適切な管理（法令上の義務を含む）	農薬保管庫は危険性を警告する表示があり、鍵がかかっていますか。		○	
		農薬は購入時に入っていた容器のままで保管していますか。（牛乳やジュース等の容器への移しかえの禁止）		○	
		開封済みの農薬は密封し、他の農薬と別に保管していますか。		○	
		農薬どうしがこぼれても混ざらないようにプラスチックトレー（染込まない素材容器）などに入れて保管していますか。		○	
		農薬は剤型別、種類別、適用作物別に明確に区分して保管していますか。		○	
		燃料は、火気がなく部外者がみだりに立ち入らない場所に保管していますか。		○	

4　農業生産工程管理の全般に係る取組

区分	ガイドライン取組事項	チェック項目	事前	栽培中	後
情報の記録・保管	米穀等の取引等に関する内容の記録の作成・保存	米穀事業者間の取引等の記録を保存していますか。 ①名称　②産地　③数量　④年月日　⑤相手方の氏名又は名称⑥搬入又は搬出した場所　⑦用途限定米穀の用途　　等	○		
	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存していますか。	○		
技術・ノウハウ（知的財産）の保護・活用	農業者自ら開発した技術・ノウハウ（知的財産）の保護・活用	特許、実用新案、品種登録だけでなく、意匠（特殊な形状の農産物や包装容器が該当します。）、商標、ブランド名、特殊な農法などの知的財産に該当する事項が何かを認識していますか。	○		
	登録品種の種苗の適切な使用（法令上の義務）	保証票などで確認できる登録品種の種苗を使用していますか。	○		
		遺伝子組み換え作物の種苗を用いる場合は、取り扱いに注意していますか。	○		
品質・規格の遵守	品質・規格の遵守	品質や規格について、基準に基づいた出荷を行っていますか。		○	
情報の記録・保管	農薬の使用に関する内容を記録し、保存	農薬の使用に関する以下の内容を記録、保存していますか。 ①使用日、②使用場所、③使用した農作物、④使用した農薬の種類又は名称、⑤単位面積当たりの使用量又は希釈倍率		○	
		肥料の使用に関する以下の内容を記録。保存していますか。 ①施用日、②施用場所、③施用した農作物、④施用した肥料の名称、⑤施用面積、⑥施用した量		○	
	種子・苗、たい肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等の保存。資材の殺菌消毒、保守管理の記録の保存	種子・苗、たい肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等を保存していますか。		○	
		資材の殺菌消毒、保守管理等の記録を保存していますか。		○	
生産工程管理の実施	生産工程管理の実施	GAPの自己点検を、年1回以上行っていますか。		○	
		生産部会や地域での生産者同士の点検を行っていますか。		○	
特定の米穀についての保管・処理	用途限定米穀、食用不適米穀の適切な保管	用途限定米穀や食用不適米穀については区分保管をしていますか。			○
	用途限定米穀、食用不適米穀の適切な販売・処分	用途限定米穀や食用不適米穀については適切に販売や処分をしていますか。			○
記録の保存期間	①米穀等の取引等に関する記録については原則3年間保存（法令上の義務を含む） ②米穀等の取引等に関する記録以外の記録については取引先等からの情報提供の求めに対応するために必要な期間保存	米穀等の取引等に関する記録について必要な期間、保存していますか。			○